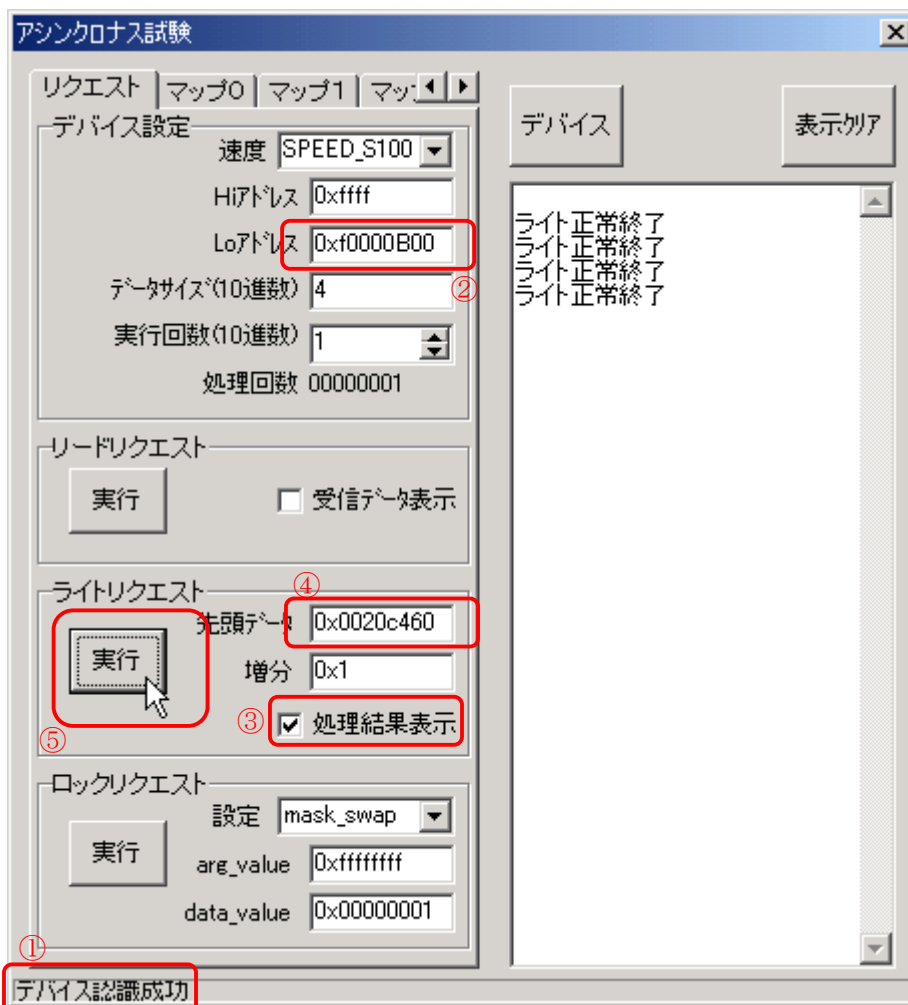


ドライバの動作確認例

AV/C コマンドのサンプルです。DV カムコーダなどで実験するときの例です。



デバイスが認識されたことを確認し①、アドレスを AV/C に合わせ②、処理結果表示にチェックを付け③、AV/C コマンドをセットし④、最後に AV/C コマンドを書き込む⑤。

面倒そうに見えますが、AV/C だけに限らず、いろいろなことができるように上記のようなインターフェースになっています。

以下にテープデバイスの AV/C コマンドの例を示します。

アドレス	コマンド	意味
0xF0000B00	0x0020C375	PLAY
	0x0020C34F	PLAY & FASTEST REVERSE
	0x0020C33F	PLAY & FASTEST FORWARD
	0x0020C37D	PAUSE
	0x0020C460	STOP
	0x0020C465	REWIND
	0x0020C475	FAST FORWARD

以上